

第1日目 2026年6月4日（木） ●第66回日本リンパ腫学会学術集会・総会

15:45～16:35 第1会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールA」）
サテライトセミナー1 （共催 中外製薬株式会社）

座長：竹内 賢吾（がん研究会 有明病院）

「DNA methylation profiling of mature B-cell lymphomas: Between biology and classification」

Reiner Siebert^{1,2,3,4)}

Institute of Human Genetics, Ulm University and Ulm University Medical Center, Ulm Germany¹⁾

Center for Rare Diseases (ZSE) Ulm, Ulm University and Ulm University Medical Center, Ulm Germany²⁾

German Center for Child and Adolescent Health (DZKJ), Ulm site, Ulm University and Ulm University Medical Center, Ulm Germany³⁾

Center for Integrated Quantum Science and Technology (IQST), Ulm University, Ulm Germany⁴⁾

15:45～16:35 第2会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-2」）
サテライトセミナー2 （共催 日本新薬株式会社）

座長：小島 研介（高知大学医学部 血液内科学講座）

「CLL治療の最前線～ピルトブルチニブの位置づけを考える～」

太田 秀一

札幌北楡病院 血液内科

15:45～16:35 第3会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-1」）
サテライトセミナー3 （共催 ギリアド・サイエンシズ株式会社）

座長：鈴木 律朗（島根大学医学部内科学講座 血液・腫瘍内科学）

「変わりゆく再発/治療抵抗性DLBCLの治療戦略—免疫細胞療法が切り拓くDLBCL診療の未来—」

蒔田 真一

国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科

第1会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールA」）
16:50～17:40 **サテライトセミナー4** （共催 Meiji Seika ファルマ株式会社）

座長：竹内 賢吾（公益財団法人がん研究会 がん研究所）

「Diagnostic challenges in T cell lymphoma and its mimics」

Tan Soo-Yong

Department of Pathology, National University of Singapore

第2会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-2」）
16:50～17:40 **サテライトセミナー5** （共催 レコルダティ・レア・ディジーズ・ジャパン株式会社）

座長：鈴木 律朗（島根大学医学部内科学講座 血液・腫瘍内科学）

「寒冷凝集素症およびその鑑別疾患における病理所見」

加留部 謙之輔

名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学

「寒冷凝集素症のQOLと最新治療～抗補体C1s抗体スチムリマブの臨床的位置づけ～」

宮川 義隆

埼玉医科大学病院 血液内科

第3会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-1」）
16:50～17:40 **サテライトセミナー6** （共催 小野薬品工業株式会社）

座長：頼 晋也（近畿大学医学部 血液・膠原病内科）

「Therapeutic Strategies for Primary Central Nervous System Lymphoma (PCNSL) and the Role of Tirabrutinib」

永根 基雄

杏林大学医学部 脳神経外科学

第2日目 2026年6月5日（金） ●第66回日本リンパ腫学会学術集会・総会

第1会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールA」）
8:00～8:50 **モーニングセミナー1** （共催 ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社）

座長：丸山 大（公益財団法人がん研究会 有明病院 血液腫瘍科）

「再発・難治性DLBCLの最新治療とその展望」

島田 和之

名古屋大学医学部附属病院 血液内科

第2会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-2」）
8:00～8:50 **モーニングセミナー2** （共催 ビーワン・メディシンス合同会社）

座長：遠西 大輔（岡山大学学術研究院医歯薬学域 腫瘍医学）

「WM/LPL治療におけるBTK阻害薬の現在地 — BTKの生物学的背景から当院の使用経験まで —」

宮脇 恒太

九州大学病院 血液・腫瘍・心血管内科

8:55～9:00 **開会式**

第1会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールA」）
9:00～10:30 シンポジウム1

リンパ腫の生物学：From Basic Biology to Translational Insights for Precision Medicine
in Lymphomas

座長：片岡 圭亮 Keisuke Kataoka

（慶應義塾大学医学部 血液内科）

錦織 桃子 Momoko Nishikori

（京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻）

SY1-1 「DNA methylation profiling of mature B-cell lymphomas: Between biology and classification」

Reiner Siebert

Institute of Human Genetics, Ulm University & Ulm University Medical Center,
Ulm, Germany

SY1-2 「クローン性造血が駆動するB細胞リンパ腫の支持性ニッチ」

藤澤 学 Manabu Fujisawa, グエン・ティー・ミン・イエン,

坂田（柳元） 麻実子

筑波大学医学医療系 血液内科学

Department of Hematology, Institute of Medicine, University of Tsukuba

SY1-3 「CAR-T細胞にとっての“良いサイトカイン・悪いサイトカイン”」

籠谷 勇紀 Yuki Kagoya

慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所がん免疫研究部門

Division of Tumor Immunology, Institute for Advanced Medical Research, Keio University
School of Medicine

SY1-4 「Genomic landscape and its clinical relevance in peripheral T-cell lymphomas」

片岡 圭亮 Keisuke Kataoka

慶應義塾大学医学部 血液内科

Division of Hematology Department of Medicine Keio University School of Medicine

9:00~10:00 第2会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-2」）
**日本リンパ腫学会ペイシエント・アドボケイト・プログラム
 (PAP) セッション**

司会：天野 慎介（一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン）

「リンパ腫治療の進歩2026」

伊豆津 宏二

国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科

10:45~12:15 第1会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールA」）
シンポジウム2

リンパ腫の病理：Pathology, Diagnosis, and Classification of Lymphoma

座長：竹内 賢吾 Kengo Takeuchi

（公益財団法人がん研究会 がん研究所）

加留部 謙之輔 Kennosuke Karube

（名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学）

SY2-1 「Unsolved Questions in Nodal T-Cell Lymphomas」

大石 直輝 Naoki Ohishi

静岡県立静岡がんセンター 病理診断科

SY2-2 「Clinical Aspects of Lymphoma: Pathology, Diagnosis, and Classification of Lymphoma」

Tan Soo-Yong

Department of Pathology, National University of Singapore

SY2-3 「EBV陽性節性末梢性T細胞リンパ腫における疾患概念構造の現在地」

加藤 省一 Seiichi Kato

佐賀大学医学部 病因病態科学講座 診断病理学分野

SY2-4 「皮膚T細胞リンパ腫の病理診断：免疫組織化学および分子病理学的アプローチの最近の進歩」

藤本 正数 Masakazu Fujimoto

京都大学医学部附属病院 病理診断科

第2会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-2」）

10:45～11:45 若手血液内科医企画

複雑化する治療体系を整理する：マントル細胞リンパ腫・慢性リンパ性白血病に対するBTK阻害薬のポジショニング

座長：山内 寛彦（がん研究会有明病院 血液腫瘍科）
 城内 優子（がん研究会有明病院 血液腫瘍科）
 丸山 大（がん研究会有明病院 血液腫瘍科）

棟方 理
 国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科

小島 研介
 高知大学医学部 血液内科学講座

第1会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールA」）

12:30～13:20 ランチョンセミナー1（共催 中外製薬株式会社）

座長：伊豆津 宏二（国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科）

「新時代を迎えるLBCL治療」

鈴木 律朗
 島根大学医学部内科学講座 血液・腫瘍内科学

第2会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-2」）

12:30～13:20 ランチョンセミナー2（共催 日本新薬株式会社）

座長：加藤 光次（九州大学大学院 医学研究院 病態修復内科学）

「BPDCNの病理診断の進歩と鑑別」

坂本 佳奈
 公益財団法人がん研究会 がん研究所 分子標的病理プロジェクト・病理部

第3会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-1」）

12:30～13:20 ランチョンセミナー3（共催 小野薬品工業株式会社）

座長：関口 直宏（独立行政法人国立病院機構災害医療センター 血液内科）

「BTK阻害薬時代のWM治療におけるTirabrutinibの臨床的位置付けとBing-Neel症候群への展開」

佐分利 益穂
 大分県立病院 輸血部

13:30～14:30 総会

第1会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールA」）

14:45～15:45 優秀演題口演

座長：錦織 桃子（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻）
百瀬 修二（埼玉医科大学総合医療センター 病理部）

P6-5 末梢性T細胞リンパ腫（PTCL）における初回治療後の臨床的転帰：完全奏効（CR）後の予後に焦点を当てた後方視的研究

寺本 由加子¹⁾，城内 優子¹⁾，森田 侑香¹⁾，美馬 風花¹⁾，桃木 真美子¹⁾，
木場 悠介¹⁾，山内 寛彦¹⁾，石原 優子¹⁾，井上 典仁^{2,3)}，三宅 美佐代^{2,3)}，
岡崎 ななせ^{2,3)}，津山 直子^{2,3)}，寺内 隆司⁴⁾，竹内 賢吾^{2,3,5)}，丸山 大¹⁾
がん研究会有明病院 血液腫瘍科¹⁾，
がん研究会有明病院 臨床病理部²⁾，
がん研究所 病理部³⁾，
がん研究会有明病院 核医学部⁴⁾，
がん研究所 分子標的病理プロジェクト⁵⁾

P8-4 Dissecting CD47 Regulation and Its Therapeutic Potential in Central Nervous System Lymphoma

久保田 悠介^{1,2)}，古屋 淳史^{1,2)}，金 夏倫^{1,2)}，新垣 清登¹⁾，本間 博邦^{3,4)}，
山岸 夢希^{5,6)}，井口 亜美^{1,2)}，水上 陽介¹⁾，堀江 沙良¹⁾，水野 洸太^{1,2)}，
斎藤 優樹¹⁾，木暮 泰寛^{1,2)}，佐々木 重嘉⁵⁾，前島 亜希子⁷⁾，遠西 大輔⁸⁾，
梶 大介⁹⁾，但馬 史人¹⁰⁾，立石 健祐^{3,4)}，永根 基雄⁵⁾，片岡 圭亮^{1,2)}
国立がん研究センター研究所分子腫瘍学分野¹⁾，
慶應義塾大学医学部血液内科²⁾，
横浜市立大学大学院医学研究科脳神経外科³⁾，
横浜市立大学大学院生命医科学研究科脳腫瘍研究室⁴⁾，
杏林大学医学部脳神経外科⁵⁾，
国立がん研究センター研究所脳腫瘍連携研究分野⁶⁾，
国立がん研究センター中央病院病理診断科⁷⁾，
岡山大学病院ゲノム医療総合推進センター⁸⁾，
虎の門病院血液内科⁹⁾，
米子医療センター血液腫瘍内科¹⁰⁾

P13-2 Spatial Multi-Omics at Single-Cell Resolution Reveals Vascular Heterogeneity and an Immune-Exhausted Microenvironment in Angioimmunoblastic T-Cell Lymphoma

清水 夕貴¹⁾, 藤澤 学^{1,2)}, 榎島 健一¹⁾, 須摩 桜子¹⁾, 末原 泰人¹⁾,
服部 圭一郎¹⁾, 坂本 竜弘^{1,2)}, 鈴木 絢子³⁾, 梶 大介⁴⁾, 中村 信彦⁵⁾,
中川 雅夫⁶⁾, 加藤 光次⁷⁾, 岩崎 健⁷⁾, 手島 伸一⁸⁾, 松永 孝生⁹⁾,
中村 直哉¹⁰⁾, 大田 泰徳⁴⁾, 鈴木 穰³⁾, Steidl Christian²⁾,
坂田 (柳元) 麻実子¹⁾

筑波大学 医学医療系 血液内科¹⁾,
BC Cancer Centre for Lymphoid Cancer department²⁾,
東京大学大学院 メディカル情報生命専攻³⁾,
虎の門病院 血液内科/病理診断科⁴⁾,
岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科⁵⁾,
北海道大学病院 血液内科⁶⁾,
九州大学病院 血液腫瘍心血管内科/病理診断科⁷⁾,
湘南鎌倉病院 病理診断科⁸⁾,
亀田総合病院 血液・腫瘍内科⁹⁾,
東海大学 医学部 病理診断学¹⁰⁾

P15-4 進行期古典的ホジキンリンパ腫におけるRHOA G17V変異検出の意義と治療戦略への示唆

山田 梨央, 西村 碧フィリーズ, 錦織 亜沙美, 佐藤 康晴
岡山大学大学院保健学研究科 分子血液病理学

P16-2 scRNA-flex解析からみたIPL型特発性多中心性Castleman病(IPL)の組織学的特徴とその分子基盤

原武 朋加, 西村 碧 フィリーズ, 錦織 亜沙美, 佐藤 康晴
岡山大学大学院保健学研究科 分子血液病理学

第1会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールA」）

16:00～17:30 シンポジウム3

リンパ腫の臨床：Recent Progress in the Treatment of Lymphoma

座長：伊豆津 宏二（国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科）
丸山 大 （がん研究会有明病院 血液腫瘍科）

SY3-1 「Clinical Aspects of Lymphoma: Recent Progress in the Treatment of Lymphoma」

Jeremy S. Abramson

Harvard Medical School/Center for Lymphoma, Massachusetts General Hospital

SY3-2 「Understanding of immune environment of extranodal NK/T-cell lymphoma(ENKTL)」

Won-Seog Kim

Samsung Medical Center

SY3-3 「Advances in Pathogenesis and Therapeutic Strategies for Peripheral T-Cell Lymphomas」

須摩 桜子 Sakurako Suma

筑波大学医学医療系 血液内科

SY3-4 「The Evolving Treatment Landscape in Follicular Lymphoma」

蒔田 真一 Shinichi Makita

国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科

第2会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-2」）

16:30～17:30 若手病理医企画

座長：三宅 美佐代（公益財団法人がん研究会 がん研究所 病理部）
竹内 賢吾 （公益財団法人がん研究会 がん研究所）

「EBウイルスゲノム欠失が駆動するリンパ腫発症メカニズムの新展開」

木村 宏

名古屋大学大学院医学系研究科 ウイルス学

第1会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールA」）
17:50～18:40 **イブニングセミナー1** （共催 武田薬品工業株式会社）

座長：富田 章裕（藤田医科大学 医学部 血液内科学）

「末梢性T細胞リンパ腫の病理診断：症例から学ぶpitfallとCD30発現評価の重要性」

加留部 謙之輔

名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学

「ADC時代のPTCLの治療戦略」

鈴木 律朗

島根大学医学部内科学講座 血液・腫瘍内科学

第2会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-2」）
17:50～18:40 **イブニングセミナー2** （共催 中外製薬株式会社）

座長：宮崎 香奈（三重大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学）

「再発・治療抵抗性濾胞性リンパ腫の治療戦略：免疫細胞療法のポジショニング」

山内 寛彦

がん研究会有明病院 血液腫瘍科

第3会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-1」）
17:50～18:40 **イブニングセミナー3** （共催 住友ファーマ株式会社）

座長：近藤 英生（川崎医科大学 血液内科学）

「ブスルファン/チオテパ前処置による自家移植の意義と有害事象管理」

錦織 桃子

京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻

**第3日目 2026年6月6日（土） ●第66回日本リンパ腫学会学術集会・総会
●第29回日本血液病理研究会**

8:00～8:50 第1会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールA」）
モーニングセミナー4 （共催 アストラゼネカ株式会社）

座長：片岡 圭亮（慶應義塾大学医学部 血液内科）

「CLL治療におけるアカラブルチニブの位置付け」

太田 秀一

札幌北楡病院 血液内科

8:00～8:50 第2会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-2」）
モーニングセミナー5 （共催 ヤンセンファーマ株式会社）

座長：頼 晋也（近畿大学医学部 血液・膠原病内科）

「MCLの分子病態と新規治療ストラテジー ～個別化医療への道～」

遠西 大輔

岡山大学学術研究院医歯薬学域 腫瘍医学分野

8:00～8:50 第3会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-1」）
モーニングセミナー6 （共催 MSD株式会社）

座長：吉原 哲（兵庫医科大学 呼吸器・血液内科学）

「PMBCLに対するpembrolizumabおよびCAR T療法：治療戦略とirAE対策」

下山 達

東京都立病院機構がん・感染症センター 都立駒込病院 腫瘍内科

9:00～9:50 第3会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-1」）
スポンサーDセミナー1 （共催 ヤンセンファーマ株式会社）

座長：楠本 茂（愛知県がんセンター血液・細胞療法部）

「CLL治療の新しい展開：time limited IBR+VEN療法の位置づけ」

青木 定夫

新潟薬科大学 医療技術学部 臨床検査学科 血液学

第1会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4F「ホールA」）

9:00～10:30 第29回日本血液病理研究会

病理症例検討会

座長：三好 寛明（久留米大学医学部 病理学講座）

岡崎 ななせ

公益財団法人がん研究会 がん研究所 病理部

竹内 賢吾

公益財団法人がん研究会 がん研究所

吉川 佳苗

名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学

加留部 謙之輔

名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学

光山 佳菜子

久留米大学医学部 病理学講座

三好 寛明

久留米大学医学部 病理学講座

9:00~10:30 第2会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-2」）
メディカルスタッフシンポジウム

リンパ腫診断を支える 技術と協働の現場

座長：西村 碧フィリーズ（岡山大学学術研究院保健学域 分子血液病理学）
内藤 裕（名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学）

岩城 憲子
国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科

濱島 丈
富山市立富山市民病院 病理診断科

三浦 聡美
島根大学医学部附属病院 検査部

有賀 祐
国立がん研究センター中央病院 臨床検査科

山田 梨央
岡山大学大学院保健学研究科 分子血液病理学

崎浜 秀悟
琉球大学医学部保健学科 病態検査学講座 血液免疫検査学分野

10:00~10:50 第3会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-1」）
スポンサードセミナー2（共催 田辺ファーマ株式会社）

座長：関口 直宏（独立行政法人国立病院機構災害医療センター 血液内科）

「改変技術の進歩が支える抗体創薬の発展」

秋葉 宏樹
京都大学 薬学研究科 創発医薬科学専攻創発医薬科学講座

第1会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールA」）

10:45～12:15 **学術・企画委員会企画セミナー**

学術企画委員会企画“**How I treat lymphoma**”

座長：伊豆津 宏二（国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科）
竹内 賢吾（公益財団法人がん研究会 がん研究所）

三浦 勝浩
日本大学医学部 内科学系 血液膠原病内科学分野

藤本 亜弓
亀田総合病院 血液・腫瘍内科

中村 信彦
岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科

末原 泰人
筑波大学 血液内科学

第2会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-2」）

11:00～11:50 **スポンサードセミナー3**

（共催 第一三共株式会社 メディカルアフェアーズ本部）

座長：片岡 圭亮（慶應義塾大学医学部 血液内科）

「PTCLにおけるゲノム・エピゲノム異常と腫瘍微小環境のメカニズム」

藤澤 学
BC Cancer Research Institute Centre/筑波大学医学医療系 血液内科

第3会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-1」）

11:00～11:50 **スポンサードセミナー4**

（共催 インサイト・バイオサイエンシズ・ジャパン合同会社）

座長：加藤 光次（九州大学大学院 医学研究院 病態修復内科学）

「再発・難治性濾胞性リンパ腫の治療戦略」

福原 規子
東北大学大学院医学系研究科 血液内科学

第1会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールA」）
12:30～13:20 ランチョンセミナー4（共催 ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社）

座長：伊豆津 宏二（国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科）

「Practical Management of Relapsed/Refractory Mantle Cell Lymphoma: Role of CAR T-cell Therapy」

Jeremy S. Abramson

Harvard Medical School/Center for Lymphoma, Massachusetts General Hospital

第2会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-2」）
12:30～13:20 ランチョンセミナー5（共催 ジェンマブ株式会社/アッヴィ合同会社）

座長：島田 和之（名古屋大学医学部附属病院 血液内科）

「再発・難治性DLBCL治療の現在地：免疫細胞療法の位置付けと2026年の到達点」

山内 寛彦

がん研究会有明病院 血液腫瘍科

第3会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-1」）
12:30～13:20 ランチョンセミナー6（共催 中外製薬株式会社/日本新薬株式会社）

座長：福原 規子（東北大学大学院医学系研究科 血液内科学分野）

「濾胞性リンパ腫一次治療の最適化：POD24を踏まえた抗CD20抗体戦略」

藤本 勝也

北海道がんセンター 血液内科

ポスター会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 3階「ROOM1」）
13:30～14:40 ポスター発表
 ※ポスター発表の詳細はP.35～P.59に掲載いたします。

第1会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールA」）
14:45～15:15 倫理・COI

COI委員長：

鈴木 律朗（島根大学医学部内科学講座 血液・腫瘍内科学）

倫理委員長：

錦織 桃子（京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻）

第3会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-1」）
14:45～15:35 **スポンサードセミナー5** （共催 ビーワン・メディシNZ合同会社）

座長：島田 和之（名古屋大学医学部附属病院 血液内科）

「CLLの治療戦略とZanubrutinibの位置づけ」

口分田 貴裕

近畿大学医学部 血液・膠原病内科

第1会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールA」）
15:20～16:50 **教育委員会企画セミナー**

悩ましいリンパ腫診断と複雑化するリンパ腫診療を整理する

座長：三好 寛明（久留米大学医学部 病理学講座）

丸山 大（がん研究会有明病院 血液腫瘍科）

加藤 省一

佐賀大学医学部 病因病態科学講座 診断病理学分野

中里 宜正

国際医療福祉大学 那須医療センター 病理部病理診断科

島田 和之

名古屋大学医学部附属病院 血液内科

遠西 大輔

岡山大学学術研究院医歯薬学域 腫瘍医学分野

第3会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 4階「ホールB-1」）
15:45～16:35 **スポンサードセミナー6** （共催：アツヴィ合同会社）

座長：魚嶋 伸彦（日本赤十字社京都第二赤十字病院）

「マンツル細胞リンパ腫におけるBCL-2阻害剤の役割」

梶 大介

虎の門病院 血液内科

16:50～16:55 **閉会式**

第3日目 2026年6月6日（土） ●第66回日本リンパ腫学会学術集会・総会

13:30～14:40

ポスター会場（有明セントラルタワーホール&カンファレンス 3階「ROOM1」）
ポスター発表

ポスター1

B細胞リンパ腫1

座長：後藤 尚絵（藤田医科大学医学部 血液内科学）

P1-1

高齢悪性リンパ腫患者におけるR-miniCHOP療法の治療完遂に影響する因子の検討

松本 花澄¹⁾, 山本 英督^{1,2)}, 佐久間 晶基³⁾, 金平 朋子³⁾, 大河内 霞帆¹⁾,
村上 五月²⁾, 水野 昌平²⁾, 花村 一郎²⁾, 築山 郁人¹⁾, 高見 昭良²⁾
名城大学薬学部¹⁾, 愛知医科大学医学部血液内科²⁾, 愛知医科大学病院薬剤部³⁾

P1-2

DLBCLに対するポラツズマブ ベドチンとリツキシマブ併用化学療法におけるイン
フュージョンリアクション発症の検討

大河内 霞帆¹⁾, 山本 英督^{1,2)}, 金平 朋子³⁾, 佐久間 晶基³⁾, 松本 花澄¹⁾,
村上 五月²⁾, 水野 昌平²⁾, 花村 一郎²⁾, 築山 郁人¹⁾, 高見 昭良²⁾
名城大学薬学部¹⁾, 愛知医科大学医学部 血液内科²⁾, 愛知医科大学病院 薬剤部³⁾

P1-3

Pola-R-CHP療法により完全寛解を維持している高齢者骨髄原発びまん性大細胞型B
細胞リンパ腫

岸 真美¹⁾, 飯塚 弘子²⁾, 古屋 智帆²⁾, 瀧澤 春子²⁾, 新田 英昭²⁾,
野口 雅章²⁾, 三森 徹²⁾
順天堂大学医学部附属浦安病院 臨床研修センター¹⁾,
順天堂大学医学部附属浦安病院 血液内科²⁾

P1-4

R-CHOP療法に抵抗性を示しPola-R-CHP療法が著効したPrimary cutaneous diffuse
large B-cell lymphoma, leg typeの一例

安藤 真由香¹⁾, 八田 俊介²⁾, 渡邊 瑞生²⁾, 金 輝²⁾, 安部 宇明²⁾,
櫻井 一貴²⁾, 川尻 昭寿²⁾, 猪倉 恭子²⁾, 小野寺 晃一²⁾, 福原 規子²⁾,
張替 秀郎²⁾
東北大学医学部 医学科¹⁾, 東北大学病院 血液内科²⁾

ポスター2 B細胞リンパ腫2

座長：佐藤 康晴（岡山大学学術研究院保健学域 分子血液病理学）

- P2-1** MYD88変異検出が診断に有用であったIgG型リンパ形質細胞性リンパ腫の1例
 松下 英嗣¹⁾，梁間 敢²⁾，坂本 明優²⁾，富垣 成²⁾，藤岡 周太郎²⁾，
 秋山 寛明²⁾，丹羽 諒太郎²⁾，上月 瑤子²⁾，宮田 吉晴³⁾，岩田 暢子²⁾，
 大谷 恭子⁴⁾，梶本 和義⁵⁾，林 祥剛⁶⁾，垣内 誠司²⁾
 淀川キリスト教病院 臨床研修センター¹⁾，淀川キリスト教病院 血液内科²⁾，
 神戸大学大学院医学研究科 AI・デジタルヘルス科学分野³⁾，
 淀川キリスト教病院 病理診断科⁴⁾，兵庫県立がんセンター 病理診断科⁵⁾，
 神戸大学 病理学講座⁶⁾
- P2-2** バーキットリンパ腫様形態を示す高悪性度B細胞リンパ腫におけるMYC転座および
 11番染色体長腕（11q）異常についての検討
 瀧井 友梨恵¹⁾，湯浅 凌雅²⁾，笠井 孝彦²⁾，木内 華由³⁾，成澤 裕子⁴⁾，
 山下 理子⁴⁾
 徳島大学大学院保健科学研究科¹⁾，徳島赤十字病院病理診断科²⁾，
 徳島大学病院病理診断科³⁾，徳島大学大学院医歯薬学研究部⁴⁾
- P2-3** 骨髄における血管内大細胞型B細胞リンパ腫診断に有用な血管内皮細胞マーカーの
 検討
 西村 佑紀¹⁾，吉川 佳苗²⁾，加留部 謙之輔²⁾
 名古屋大学医学部医学科¹⁾，名古屋大学大学院医学系研究科高次医用科学臓器病態診断学²⁾
- P2-4** DLBCLにおけるHDAC阻害剤感受性に関与するHDAC2の機能的役割と臨床的特徴
 飯塚 くるみ¹⁾，下埜 城嗣²⁾，山田 梨央¹⁾，佐藤 康晴¹⁾，遠西 大輔³⁾
 岡山大学医学部保健学科¹⁾，岡山大学病院輸血細胞療法部²⁾，岡山大学病院臨床腫瘍科³⁾

ポスター3 B細胞リンパ腫3

座長：塩沢 英輔（昭和医科大学医学部 臨床病理診断学講座）

- P3-1** 免疫不全/免疫調節障害に起因するリンパ腫濾胞性リンパ腫型4例の検討
 村松 彩子¹⁾，古林 勉¹⁾，埜中 広一¹⁾，杉谷 未央¹⁾，松本 洋典¹⁾，
 岩井 俊樹¹⁾，内山 人二¹⁾
 京都第一赤十字病院 血液内科¹⁾

- P3-2** 画像検査で検出されない心筋浸潤により突然死した濾胞性リンパ腫の剖検例
堀口 梨央¹⁾, 杉崎 真人¹⁾, 鶴岡 太郎¹⁾, 宮下 南¹⁾, 反町 百花¹⁾,
吉田 孝友²⁾, 外山 耕太郎¹⁾
公立藤岡総合病院 血液内科¹⁾, 公立藤岡総合病院 病理診断科²⁾
- P3-3** 腫瘍性濾胞に特徴的な硝子様硬化所見を認めた濾胞性リンパ腫の一例
塩沢 英輔¹⁾, 大平 泰之¹⁾, 石田 尚子²⁾, 村井 聡¹⁾, 本間 まゆみ¹⁾,
島田 翔太郎³⁾, 服部 憲路³⁾, 美島 健二²⁾, 瀧本 雅文¹⁾, 矢持 淑子¹⁾
昭和医科大学医学部 臨床病理診断学講座¹⁾, 昭和医科大学歯学部 口腔病理学²⁾,
昭和医科大学医学部 内科学講座 血液内科学部門³⁾
- P3-4** 免疫グロブリンκ鎖λ鎖共発現を見る濾胞性リンパ腫の一例 -A diagnostic pitfall of DISH-
吉川 佳苗, 加留部 謙之輔
名古屋大学医学系研究科 臓器病態診断学
- P3-5** Two recurrent types of IGH::5' BCL2 fusion genes in B-cell tumors
前川 ふみよ¹⁾, 竹岡 加陽¹⁾, 林田 雅彦¹⁾, 福塚 勝弘¹⁾, 中川 美穂¹⁾,
坂本 真一²⁾, 住吉 真治³⁾, 赤坂 尚司³⁾, 錦織 桃子⁴⁾, 大野 仁嗣¹⁾
天理よろづ相談所 医学研究所¹⁾, 天理よろづ相談所病院 病理診断科²⁾,
天理よろづ相談所病院 血液内科³⁾, 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻⁴⁾
- P3-6** MYC, BCL2, BCL6の転座を認めた古典的FLの一例
品田 悠介^{1,2)}, 鈴木 隆晴^{1,2)}, 水戸部 正樹²⁾, 高田 尚良³⁾, 瀧澤 淳²⁾
新潟県立新発田病院 血液内科¹⁾,
新潟大学大学院 医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科学分野²⁾,
富山大学学術研究部医学系病態・病理学講座³⁾

ポスター4 B細胞リンパ腫4

座長：伊豆津 宏二（国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科）

- P4-1** 当院における未治療移植非適応マンテル細胞リンパ腫の後方視的解析
 澤 玲良¹⁾, 加藤 丈晴¹⁾, 宇佐 俊哉¹⁾, 小谷 龍太郎¹⁾, 南野 恭子¹⁾,
 勝岡 真一¹⁾, 西村 紗央里¹⁾, 児嶋 梓¹⁾, 山田 悠一¹⁾, 橋本 美紀¹⁾,
 鳥山 愛生¹⁾, 坂本 光¹⁾, 田口 正剛¹⁾, 蓬萊 真喜子¹⁾, 糸永 英弘²⁾,
 佐藤 信也¹⁾, 安東 恒史¹⁾, 三好 寛明³⁾, 宮崎 泰司¹⁾
 長崎大学病院 血液内科¹⁾, 長崎大学病院 細胞療法部²⁾, 久留米大学医学部 病理学講座³⁾
- P4-2** 臨床および病理学的に特発性多中心性Castleman病TAFRO型に酷似したMantle cell lymphomaの一例
 川波 由歩¹⁾, 西村 碧 フィリーズ²⁾, 坂本 美彩¹⁾, 西森 久和³⁾,
 田中 芳紀³⁾, 塩手 康弘³⁾, 佐藤 康晴²⁾, 市村 浩一⁴⁾
 地方独立行政法人広島市民病院機構 広島市立広島市民病院 臨床検査部¹⁾,
 岡山大学学術研究院保健学域 分子血液病理学²⁾,
 地方独立行政法人広島市民病院機構 広島市立広島市民病院 血液内科³⁾,
 地方独立行政法人広島市民病院機構 広島市立広島市民病院 病理診断科⁴⁾
- P4-3** 濾胞性リンパ腫とマンテル細胞リンパ腫が複合発生した1例
 藤田 陽太¹⁾, 新堂 真紀¹⁾, 小林 正行¹⁾, 尼川 龍一¹⁾, 中峯 寛和²⁾,
 武田 麻衣子³⁾
 日本パプテスト病院 血液内科¹⁾, 同 中央検査部²⁾, 奈良県立医科大学 病理診断部³⁾
- P4-4** Ibrutinibとvenetoclaxの併用治療が奏効しているleukemic non-nodal MCLの1例
 藤井 総一郎¹⁾, 宗石 愛花¹⁾, 村山 晃三¹⁾, 木村 真衣子¹⁾, 新谷 大悟¹⁾,
 竹内 誠¹⁾, 都地 友紘²⁾
 岡山赤十字病院 血液内科¹⁾, 岡山赤十字病院 病理診断科²⁾

P4-5

Pirtobrutinib in Relapsed/Refractory (R/R) Mantle Cell Lymphoma (MCL): Final update from the Phase 1/2 BRUIN Study

Takahiro Kumode¹, Michael L. Wang², Jonathon B. Cohen³,
Nirav N. Shah⁴, Wojciech Jurczak⁵, Pier Luigi Zinzani⁶, Chan Y. Cheah⁷,
Chaitra S. Ujjani⁸, Youngil Koh⁹, Won Seog Kim¹⁰, Sunita D. Nasta¹¹,
Ian Flinn¹², Benoit Tessoulin¹³, Shuo Ma¹⁴, Alvaro J. Alencar¹⁵,
David J. Lewis¹⁶, Jennifer A. Woyach¹⁷, Kami J Maddocks¹⁷, Krish Patel^{18,19},
Yucui Wang²⁰, Joanna M. Rhodes²¹, Constantine S. Tam²²,
John F. Seymour²³, Hirokazu Nagai²⁴, Julie M. Vose²⁵, Bitia Fakhri²⁶,
Marc S. Hoffmann²⁷, Francisco Hernandez-Ilizaliturri²⁸,
Andrew D. Zelenetz²⁹, Anita Kumar²⁹, Talha Munir³⁰, Donald E. Tsai³¹,
Paolo Abada³¹, Minna Balbas³¹, Jian Li³¹, Denise Wang³¹,
Lindsey E. Roeker³², Toby A. Eyre³³

Kindai University¹, MD Anderson Cancer Center²,
Winship Cancer Institute, Emory University³, Medical College of Wisconsin⁴,
Maria Sklodowska-Curie National Research Institute of Oncology⁵,
Institute of Hematology “Seràgnoli” University of Bologna⁶,
Linear Clinical Research and Sir Charles Gairdner Hospital⁷,
Fred Hutchinson Cancer Research Center⁸, Seoul National University Hospital⁹,
Hematology and Oncology at Sungkyunkwan University School of Medicine¹⁰,
Abramson Cancer Center, University of Pennsylvania¹¹,
Tennessee Oncology and OneOncology¹²,
Hematology Department, University Hospital¹³,
Robert H. Lurie Comprehensive Cancer Center of Northwestern University¹⁴,
Sylvester Comprehensive Cancer Center, Miami¹⁵,
University Hospitals Plymouth NHS¹⁶,
The Ohio State University Comprehensive Cancer Center¹⁷, Swedish Cancer Institute¹⁸,
Sarah Cannon Research Institute¹⁹, Division of Hematology, Mayo Clinic²⁰,
Rutgers Cancer Institute²¹, Alfred Health and Monash University²²,
Royal Melbourne Hospital, Peter MacCallum Cancer Centre and University of Melbourne²³,
National Hospital Organization, Nagoya Medical Center²⁴,
University of Nebraska Medical Center²⁵,
Division of Hematology at Stanford University School of Medicine²⁶,
The University of Kansas Cancer Center²⁷,
Roswell Park Comprehensive Cancer Center, Jacobs School of Medicine and Biomedical
Sciences, University at Buffalo²⁸,
Memorial Sloan Kettering Cancer Center²⁹, St. James’s University Hospital³⁰,
Eli Lilly and Company, Indianapolis³¹, Mayo Clinic, Rochester³²,
Oxford University Hospitals NHS Foundation Trust, Churchill Cancer Center³³

P4-7

Lisocabtagene maraleucel (liso-cel) in relapsed or refractory mantle cell lymphoma (MCL): 2-year results and subgroup analyses of the MCL cohort from the open-label phase 1 TRANSCEND NHL 001 study

Jeremy S. Abramson¹, Michael Wang², Tanya Siddiqi³, Leo I. Gordon⁴,
Manali Kamdar⁵, Matthew Lunning⁶, Alexandre V. Hirayama⁷,
Jon Arnason⁸, Nilanjan Ghosh⁹, Amitkumar Mehta¹⁰,
Charalambos Andreadis¹¹, Scott R. Solomon¹², Giovanna Andreola¹³,
Ashvin Singh¹⁴, Juliana E. Hidalgo-López¹⁴, Jing Wang¹⁵, Xue Ding¹⁵,
M. Lia Palomba¹⁶

Massachusetts General Hospital Cancer Center, Harvard Medical School, Boston, MA, USA¹,
The University of Texas MD Anderson Cancer Center, Houston, TX, USA²,
City of Hope National Medical Center, Duarte, CA, USA³,
Northwestern University, Feinberg School of Medicine, Robert H. Lurie Comprehensive
Cancer Center, Chicago, IL, USA⁴,
University of Colorado Cancer Center, Aurora, CO, USA⁵,
University of Nebraska Medical Center, Omaha, NE, USA⁶,
Fred Hutchinson Cancer Center, Seattle, WA, USA⁷,
Beth Israel Deaconess Medical Center, Boston, MA, USA⁸,
Atrium Health, Levine Cancer Institute, Wake Forest University School of Medicine,
Charlotte, NC, USA⁹,
University of Alabama at Birmingham, Birmingham, AL, USA¹⁰,
University of California, San Francisco, San Francisco, CA, USA¹¹,
Northside Hospital Cancer Institute, Atlanta, GA, USA¹²,
Bristol Myers Squibb, Boudry, Switzerland¹³,
Bristol Myers Squibb, Princeton, NJ, USA¹⁴, Bristol Myers Squibb, Seattle, WA, USA¹⁵,
Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New York, NY, USA¹⁶

ポスター5 B細胞リンパ腫5

座長：丸山 大（がん研究会有明病院 血液腫瘍科）

P5-1 ONO-4538-131: Phase II study of ONO-4538 (nivolumab) in patients with Richter's transformation

瀧澤 淳¹⁾, 棟方 理²⁾, 中川 雅夫³⁾, 福原 規子⁴⁾, 下山 達⁵⁾, 楠本 茂⁶⁾,
有馬 浩史⁷⁾, 口分田 貴裕⁸⁾, 牟田 毅⁹⁾, 加藤 光次¹⁰⁾, 丸山 裕慎¹¹⁾,
米盛 勸¹²⁾

新潟大学医歯学総合病院 血液内科¹⁾, 国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科²⁾,
北海道大学病院 血液内科³⁾, 東北大学病院 血液内科⁴⁾, 東京都立駒込病院 腫瘍内科⁵⁾,
愛知県がんセンター 血液・細胞療法部⁶⁾, 京都大学医学部附属病院 血液内科⁷⁾,
近畿大学病院 血液・膠原病内科⁸⁾, 広島赤十字・原爆病院 血液内科⁹⁾,
九州大学病院 血液・腫瘍・心血管内科¹⁰⁾,
小野薬品工業株式会社 オンコロジー臨床開発部¹¹⁾,
国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科¹²⁾

P5-2 Patient preferences and factors affecting patient treatment decisions for chronic lymphocytic leukemia (CLL) in Japan

Hirohiko Shibayama¹⁾, Junji Suzumiya²⁾, Kuniharu Matsuno³⁾,
Kazuki Kiyose³⁾, Mei Xue⁴⁾, Yan Meng⁵⁾, Todor Totev⁵⁾,
Zhuo Chen⁵⁾, Keri Yang⁴⁾, Sikander Ailawadhi⁶⁾

Department of Hematology, National Hospital Organization Osaka National Hospital¹⁾,
Department of Hematology, Koga Community Hospital, Yaizu, Japan²⁾,
BeOne Medicines Ltd, Tokyo, Japan³⁾, BeOne Medicines Ltd, San Carlos, CA, USA⁴⁾,
Analysis Group, Inc., Boston, MA, USA⁵⁾, Mayo Clinic, Jacksonville, FL, USA⁶⁾

P5-3**Pirtobrutinib in Post-cBTKi CLL/SLL: Final Update from the Phase 1/2 BRUIN Study with more than 5 years Follow-Up**

Noriko Fukuhara¹⁾, William G. Wierda²⁾, Jennifer R. Brown³⁾, Paolo Ghia^{4,5)}, Lindsey E. Roeker⁶⁾, Krish Patel⁷⁾, Toby A. Eyre⁸⁾, Talha Munir⁹⁾, Ewa Lech-Maranda¹⁰⁾, Nicole Lamanna¹¹⁾, Constantine S. Tam¹²⁾, John F. Seymour¹³⁾, Benoit Tessoulin¹⁴⁾, Nirav N. Shah¹⁵⁾, Chaitra Ujjani¹⁶⁾, Bita Fakhri¹⁷⁾, Catherine C. Coombs¹⁸⁾, Ian Flinn¹⁹⁾, Manish R. Patel²⁰⁾, Sunita D. Nasta²¹⁾, Jonathon B. Cohen²²⁾, Alvaro J. Alencar²³⁾, Chan Y. Cheah²⁴⁾, Shuo Ma²⁵⁾, Joanna M. Rhoades²⁶⁾, Deepa Jagadeesh²⁷⁾, Pier Luigi Zinzani²⁸⁾, Anders Osterborg²⁹⁾, Koji Izutsu³⁰⁾, Donald E. Tsai³¹⁾, Paolo Abada³¹⁾, Minna Balbas³¹⁾, Jian Li³¹⁾, Denise Wang³¹⁾, Wojciech Jurczak³²⁾, Jennifer A. Woyach³³⁾

Tohoku University Hospital¹⁾, MD Anderson Cancer Center²⁾, Dana-Farber Cancer Institute and Harvard Medical School³⁾, Università Vita-Salute San Raffaele⁴⁾, IRCCS Ospedale San Raffaele⁵⁾, Mayo Clinic⁶⁾, Swedish Cancer Institute⁷⁾, Oxford University Hospitals NHS Foundation Trust, Churchill Cancer Center⁸⁾, St. James's University Hospital⁹⁾, Institute of Hematology and Transfusion Medicine¹⁰⁾, Herbert Irving Comprehensive Cancer Center, Columbia University¹¹⁾, Alfred Health and Monash University¹²⁾, Royal Melbourne Hospital, Peter MacCallum Cancer Centre and University of Melbourne¹³⁾, University Hospital¹⁴⁾, Medical College of Wisconsin¹⁵⁾, Fred Hutchinson Cancer Research Center¹⁶⁾, Division of Hematology at Stanford University School of Medicine¹⁷⁾, University of California Irvine¹⁸⁾, Tennessee Oncology and OneOncology¹⁹⁾, Florida Cancer Specialists/Sarah Cannon Research Institute²⁰⁾, Abramson Cancer Center, University of Pennsylvania²¹⁾, Winship Cancer Institute, Emory University²²⁾, Sylvester Comprehensive Cancer²³⁾, Linear Clinical Research and Sir Charles Gairdner Hospital²⁴⁾, Robert H. Lurie Comprehensive Cancer Center of Northwestern University²⁵⁾, Rutgers Cancer Institute, New Brunswick²⁶⁾, Cleveland Clinic, Cleveland²⁷⁾, Institute of Hematology "Seràgnoli" University of Bologna²⁸⁾, Karolinska Institute and Karolinska University Hospital, Stockholm²⁹⁾, National Cancer Center Hospital³⁰⁾, Eli Lilly and Company³¹⁾, Maria Skłodowska-Curie National Research Institute of Oncology³²⁾, The Ohio State University Comprehensive Cancer Center³³⁾

P5-6

Improvements in health-related quality of life in the SUNMO study: Subcutaneous mosunetuzumab plus polatuzumab vedotin vs rituximab, gemcitabine and oxaliplatin (R-GemOx) in patients with R/R LBCL

Won-Seog Kim¹, Jason Westin², Huilai Zhang³, Dai Maruyama⁴,
Eduardo M. Rego⁵, Huangming Hong⁶, Hideki Goto⁷, Mark Fesler⁸,
Boone Goodgame⁹, Zhiming Li¹⁰, Adam Olszewski¹¹, Joan Ashby¹²,
Shen Yin¹², Wahib S. Ead¹², Martin Janousek¹³, Song Pham¹⁴,
Connie L. Batlevi¹², Michael C. Wei¹², Elizabeth Budde¹⁵

Samsung Medical Center, Seoul, Korea, Rep. of South¹,

MD Anderson Cancer Center, Houston, TX, United States²,

Tianjin Medical University Cancer Institute and Hospital, Tianjin, China³,

Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan⁴,

Instituto D'Or de Pesquisa e Ensino, Sao Paulo, Brazil⁵,

Si Chuan Cancer Hospital, Chengdu, China⁶,

Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan⁷,

St. Luke's Hospital, Chesterfield, MO, United States⁸,

Dell Medical School, University of Texas at Austin, Austin, TX, United States⁹,

Sun Yat-sen University Cancer Center, Guangzhou, China¹⁰,

Brown University, Providence, RI, United States¹¹,

Genentech, Inc., South San Francisco, CA, United States¹²,

F. Hoffmann-La Roche Ltd, Basel, Switzerland¹³,

F. Hoffmann-La Roche Ltd, Mississauga, Canada¹⁴,

City of Hope National Medical Center, Duarte, CA, United States¹⁵

ポスター6 T/NK細胞リンパ腫 1

座長：楠本 茂（愛知県がんセンター 血液・細胞療法部）

P6-1

Cytopenia and Immune Cell Profiling in Patients With Relapsed or Refractory Peripheral T-Cell Lymphoma Treated With Valemetostat Monotherapy in the VALENTINE-PTCL01 Study

楠本 茂^{1,2)}, Steven M. Horwitz³⁾, 伊豆津 宏二⁴⁾, Neha Mehta-Shah⁵⁾,
Raul Córdoba⁶⁾, Stefan K. Barta⁷⁾, Emmanuel Bachy⁸⁾,
Giuseppe Gritti⁹⁾, Eric Jacobsen¹⁰⁾, Yann Guillermin¹⁰⁾, 檜作 好之¹⁰⁾,
森山 貴也¹⁰⁾, Kristen Tescon¹⁰⁾, Nabil A Said¹⁰⁾, 中島 圭子¹⁰⁾,
Pier Luigi Zinzani¹⁰⁾

愛知県がんセンター 血液・細胞療法部¹⁾,

名古屋市立大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学²⁾,

Department of Medicine, Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New York, NY, USA³⁾,

国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科⁴⁾,

School of Medicine, Washington University, St Louis, MO, USA⁵⁾,

Health Research Institute IIS-FJD, Fundacion Jimenez Diaz University Hospital,

University Alfonso X El Sabio, Madrid, Spain⁶⁾,

Abramson Cancer Center, University of Pennsylvania, Philadelphia, PA, USA⁷⁾,

Department of Hematology, Lyon-Sud Hospital Center, Pierre-Bénite, France⁸⁾,

Hematology and BMT Unit, ASST Papa Giovanni XXIII, Bergamo, Italy⁹⁾,

Department of Medical Oncology, Dana-Farber Cancer Institute, Boston, MA, USA¹⁰⁾,

Department of Hematology, Léon Bérard Center, Lyon, France¹¹⁾,

Daiichi Sankyo, Basking Ridge, NJ, USA¹²⁾,

Lymphoma and Chronic Lymphoproliferative Syndromes Unit, Institute of Hematology “L. e A. Seràgnoli”, University of Bologna, Bologna, Italy.¹³⁾

P6-2

Outcomes of Relapsed or Refractory Mature T/NK-Cell Lymphomas in the Era of Novel Agents: A Nationwide Observational Study in Japan

一戸 辰夫¹⁾, 牟田 毅²⁾, 瓜生 英樹³⁾, 渡邊 光正⁴⁾, 末永 孝生⁵⁾,
高畑 篤⁶⁾, 澤 正史⁷⁾, 高山 信之⁸⁾, 横田 貴史⁹⁾, 高橋 宏通¹⁰⁾,
山内 寛彦¹¹⁾, 塚本 拓¹²⁾, 塚崎 邦弘¹³⁾, 白土 基明¹⁴⁾, 井戸 健太郎¹⁵⁾,
高松 泰¹⁶⁾, 野坂 生郷¹⁷⁾, 近藤 忠一¹⁸⁾, 成田 朋子¹⁹⁾, 湯田 淳一郎²⁰⁾,
林 正樹²¹⁾, 仲 亮祐²²⁾, 藤森 浩彰²²⁾, 馬場 裕一²²⁾, 西尾 充史²²⁾,
石塚 賢治²³⁾, 伊豆津 宏二²⁴⁾

広島大学 原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科¹⁾, 広島赤十字・原爆病院 血液内科²⁾,
東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍・血液内科³⁾,
兵庫県立尼崎総合医療センター 血液内科⁴⁾,
医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 血液・腫瘍内科⁵⁾,
国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院 血液内科⁶⁾,
愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院 血液内科⁷⁾,
杏林大学医学部付属病院 血液内科⁸⁾,
地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 血液内科⁹⁾,
日本大学医学部附属板橋病院 血液腫瘍内科¹⁰⁾,
公益財団法人がん研究会 有明病院 血液腫瘍科¹¹⁾,
京都府立医科大学附属病院 血液内科¹²⁾,
埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科¹³⁾, 飯塚病院 血液内科¹⁴⁾,
大阪公立大学・大学院医学研究科 血液腫瘍制御学¹⁵⁾,
福岡大学病院 腫瘍・血液・感染症内科¹⁶⁾,
国立大学法人 熊本大学病院 血液・膠原病・感染症内科¹⁷⁾,
地方独立行政法人 神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院 血液内科¹⁸⁾,
名古屋市立大学病院 血液・腫瘍内科¹⁹⁾,
国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科²⁰⁾, 血液腫瘍内科²¹⁾,
ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社²²⁾,
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血液・膠原病内科学分野²³⁾,
国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科²⁴⁾

P6-3

RT-DeVIC療法が施行された限局期ENKLにおける局所領域再発・増悪の実態：国内多機関共同調査研究（NKEA-Next project）による後方視的解析

田口 千蔵^{1,9)}, 宮崎 香奈^{2,9)}, 藤本 亜弓^{3,9)}, 石橋 直也^{4,9)}, 磯部 公一^{5,9)},
伊藤 仁^{6,9)}, 川口 弘毅^{7,9)}, 副島 俊典^{8,9)}, 今井 美智子⁹⁾, 下田 絵美子⁹⁾,
井垣 浩⁹⁾, 丸山 大⁹⁾, 浅野 直子⁹⁾, 鈴木 律朗⁹⁾, 山口 素子⁹⁾,
江島 泰生^{9,10)}

がん研究会 有明病院 放射線治療部¹⁾, 三重大学医学部附属病院 血液内科²⁾,
島根大学医学部附属病院 血液内科³⁾, 日本大学病院 放射線科⁴⁾,
東邦大学医療センター佐倉病院 放射線科⁵⁾,
国立病院機構京都医療センター 放射線治療科⁶⁾,
神戸大学医学部附属病院 放射線腫瘍科⁷⁾, 神戸低侵襲がん医療センター 放射線治療科⁸⁾,
NKEA-Next project⁹⁾, 獨協医科大学病院 放射線治療センター¹⁰⁾

P6-4 再発末梢性T細胞リンパ腫におけるHDAC阻害薬の治療継続性に関する後方視的検討

宮澤 悠里¹⁾, 小林 宣彦¹⁾, 武井 寿史¹⁾, 大崎 洋平²⁾, 齋藤 貴之³⁾,
半田 寛¹⁾

群馬大学医学部附属病院 血液内科¹⁾, 群馬大学医学部附属病院 腫瘍内科²⁾,
群馬大学大学院保健学研究科³⁾

P6-5 優秀演題口演 末梢性T細胞リンパ腫 (PTCL) における初回治療後の臨床的転帰：完全奏効 (CR) 後の予後に焦点を当てた後方視的研究

寺本 由加子¹⁾, 城内 優子¹⁾, 森田 侑香¹⁾, 美馬 風花¹⁾, 桃木 真美子¹⁾,
木場 悠介¹⁾, 山内 寛彦¹⁾, 石原 優子¹⁾, 井上 典仁^{2,3)}, 三宅 美佐代^{2,3)},
岡崎 ななせ^{2,3)}, 津山 直子^{2,3)}, 寺内 隆司⁴⁾, 竹内 賢吾^{2,3,5)}, 丸山 大¹⁾

がん研究会有明病院 血液腫瘍科¹⁾, がん研究会有明病院 臨床病理部²⁾,
がん研究所 病理部³⁾, がん研究会有明病院 核医学部⁴⁾,
がん研究所 分子標的病理プロジェクト⁵⁾

P6-6 シクロスポリンで治療された NK細胞性顆粒大リンパ球性白血病の長期フォローアップ

加藤 駿晴¹⁾, 後藤 尚絵¹⁾, 楫屋 良子¹⁾, 清水 輝一¹⁾, 金田 泰準¹⁾,
内田 直樹¹⁾, 岡本 晃直¹⁾, 入山 智沙子¹⁾, 杉原 英志²⁾, 富田 章裕¹⁾

藤田医科大学 医学部 血液内科学¹⁾,
藤田医科大学 研究推進本部 オープンファシリティセンター²⁾

ポスター7 B細胞リンパ腫6

座長：高橋 直樹 (埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科)

P7-1 当院における原発性マクログロブリン血症(WM)/リンパ形質細胞リンパ腫(LPL)症例の検討

高橋 直樹¹⁾, 郡 美佳¹⁾, 岡村 大輔¹⁾, 石川 真穂¹⁾, 脇本 直樹¹⁾,
前田 智也¹⁾, 川井 信孝¹⁾, 松田 晃¹⁾, 佐藤 次生²⁾, 茅野 秀一²⁾

埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科¹⁾,
埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科²⁾

P7-2 MYD88変異陰性リンパ形質細胞性リンパ腫／原発性マクログロブリン血症（LPL/WM）の臨床像と分子生物学的背景の検討

内田 直樹¹，鷺崎 知美²，加藤 駿晴¹，清水 輝一¹，金田 泰準¹，
後藤 尚絵¹，入山 智沙子¹，岡本 晃直¹，福岡 翔³，美山 貴彦³，
森下 喬允³，楫屋 良子¹，伊庭 佐知子¹，服部 恵子¹，杉原 英志⁴，
南口 早智子⁵，稲本 賢弘³，富田 章裕¹

藤田医科大学医学部 血液内科学¹，岐阜市民病院 血液内科²，
藤田医科大学医学部 造血細胞移植・細胞療法学³，
藤田医科大学 腫瘍医学研究センター 遺伝子制御研究部門⁴，
藤田医科大学医学部 病理診断学⁵

P7-3 MYD88変異陰性LPL症例に対するBTK阻害薬の効果

根来 英樹¹，米元 葉採²，今村 好章²，山内 高弘¹

福井大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科¹，
福井大学医学部附属病院 病理診断科/病理部²

P7-4 当院における寒冷凝集素症の臨床病理学的検討

長瀬 駿介¹，谷垣 祐妃¹，伊藤 淳史¹，織田 麻琴¹，生駒 悠¹，
菊池 イアーラ幸江¹，カレーラス ジュアキム¹，川田 浩志²，中村 直哉¹，
眞杉 洋平¹

東海大学医学部医学科基盤診療学系病理診断学¹，
東海大学医学部内科学系血液・腫瘍内科学²

P7-5 胃癌を合併した脾腫を伴わない高齢Hairy cell leukemiaの1例：自験例と本邦報告例の文献レビュー

伊藤 真理子¹，山脇 文彦²，原田 知弥²，佐賀 智之²，石原 敏道²，
金川 実千代²，松田 玲奈¹，八代 真一¹，鹿野 哲¹，佐々木 豊¹，
茅野 秀一³

勤医協中央病院 病理診断科¹，勤医協中央病院 血液内科²，
埼玉医科大学 保健医療学部 共通教育部門³

P7-6 臀部病変として再発を来したMALT lymphomaの一例

藤原 英世¹，秋山 隆¹，物部 泰昌²，中西 秀和³，神谷 伸彦⁴

川崎医科大学総合医療センター 病理科¹，岡山医学検査センター 病理科²，
川崎医科大学総合医療センター 内科³，川崎医科大学総合医療センター 放射線科⁴

ポスター8 B細胞リンパ腫7

座長：富田 直人（聖マリアンナ医科大学 血液・腫瘍内科学）

P8-1 Primary pituitary large B-cell lymphoma diagnosed after surgery for pituitary neuroendocrine tumor

山本 渉¹⁾, 百瀬 修二¹⁾, 村上 千明¹⁾, 三澤 壯之¹⁾, 神山 太希¹⁾,
清水 朋実¹⁾, 菊地 由季菜¹⁾, 久米 絢子¹⁾, 永田 真莉乃¹⁾, 沢田 圭佑¹⁾,
高柳 奈津子¹⁾, 今田 浩生¹⁾, 山崎 真美¹⁾, 山下 高久¹⁾, 守屋 慶一²⁾,
柏村 眞²⁾, 田丸 淳一¹⁾, 東 守洋¹⁾

埼玉医科大学総合医療センター 病理部¹⁾, 新松戸中央総合病院 血液内科²⁾

P8-2 切開生検により診断を得た、腕神経叢の神経リンパ腫症で発症したDLBCLの2例

小田 祐貴¹⁾, 橋本 千寿子¹⁾, 山ノ川 晴花¹⁾, 長谷川 広大¹⁾, 中島 尚嗣²⁾,
大橋 卓馬³⁾, 湯口 周⁴⁾, 鷺見 公太⁴⁾, 高橋 寛行¹⁾, 大久保 陽一郎⁴⁾,
酒井 リカ¹⁾, 中島 秀明³⁾

神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科¹⁾, 神奈川県立がんセンター 骨軟部腫瘍外科²⁾,
横浜市立大学医学部 血液・免疫・感染症内科学³⁾, 神奈川県立がんセンター 病理診断科⁴⁾

P8-3 Neurolymphomatosisとして再発した精巣原発DLBCLの1例

吉田 菊晃¹⁾, 太根 美聡¹⁾, 江守 誠司²⁾, 松本 藍¹⁾, 谷河 育朗¹⁾,
寺本 寛¹⁾, 岡村 雅¹⁾, 横矢 悠馬¹⁾, 田畑 翔太郎¹⁾, 小浴 秀樹¹⁾,
細井 裕樹¹⁾, 村田 祥吾¹⁾, 園木 孝志¹⁾

和歌山県立医科大学附属病院 血液内科¹⁾, 和歌山県立医科大学附属病院 脳神経内科²⁾

P8-4 優秀演題口演 Dissecting CD47 Regulation and Its Therapeutic Potential in Central Nervous System Lymphoma

久保田 悠介^{1,2)}, 古屋 淳史^{1,2)}, 金 夏倫^{1,2)}, 新垣 清登¹⁾, 本間 博邦^{3,4)},
山岸 夢希^{5,6)}, 井口 亜美^{1,2)}, 水上 陽介¹⁾, 堀江 沙良¹⁾, 水野 洸太^{1,2)},
斎藤 優樹¹⁾, 木暮 泰寛^{1,2)}, 佐々木 重嘉⁵⁾, 前島 亜希子⁷⁾, 遠西 大輔⁸⁾,
梶 大介⁹⁾, 但馬 史人¹⁰⁾, 立石 健祐^{3,4)}, 永根 基雄⁵⁾, 片岡 圭亮^{1,2)}

国立がん研究センター研究所分子腫瘍学分野¹⁾, 慶應義塾大学医学部血液内科²⁾,

横浜市立大学大学院医学研究科脳神経外科³⁾,

横浜市立大学大学院生命医科学研究科脳腫瘍研究室⁴⁾, 杏林大学医学部脳神経外科⁵⁾,

国立がん研究センター研究所脳腫瘍連携研究分野⁶⁾,

国立がん研究センター中央病院病理診断科⁷⁾, 岡山大学病院ゲノム医療総合推進センター⁸⁾,

虎の門病院血液内科⁹⁾, 米子医療センター血液腫瘍内科¹⁰⁾

P8-5 当院の中樞神経原発悪性リンパ腫におけるチラブルチニブの治療成績
三科 達三, 真子 千華, 菅原 武明, 辻村 秀樹, 熊谷 匡也, 武内 正博
葉県がんセンター 腫瘍血液内科

P8-6 Real-World Experience of Lisocabtagene Maraleucel in Patients with Secondary Central Nervous System Lymphoma: A Single-Center Analysis
田畑 里佳子¹⁾, 梶 大介^{1,2,3)}, 平尾 達郎¹⁾, 山本 豪^{1,2)}, 久能 美香¹⁾,
渡部 音哉¹⁾, 西田 彩¹⁾, 高木 伸介¹⁾, 山本 久史¹⁾, 森 有紀^{2,3)},
内田 直之¹⁾
虎の門病院 血液内科¹⁾, 虎の門病院 細胞療法センター²⁾, 虎の門病院 輸血細胞治療部³⁾

ポスター9 B細胞リンパ腫8

座長：石塚 賢治（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血液・膠原病内科学分野）

P9-1 実臨床下での再発難治性の濾胞性リンパ腫 (r/r FL) における二重特異性抗体 (BsAb) の使用経験：単一施設からの報告
関口 康宣¹⁾, 浜野 しずか¹⁾, 新井 康裕¹⁾, 工藤 昌尚¹⁾, 柵木 信男¹⁾,
飯崎 淑恵¹⁾, 川村 眞知子²⁾, 小林 一彦³⁾, 西村 ゆう⁴⁾, 神田 浩明⁴⁾,
武井 大輔⁵⁾, 安部 智哉⁵⁾, 花井 誠⁵⁾, 遠藤 沙也花⁵⁾, 中山 季昭⁵⁾,
島野 靖正⁶⁾, 小林 秦文¹⁾
埼玉県立がんセンター 血液内科¹⁾, 埼玉県立がんセンター 臨床検査科²⁾,
埼玉県立がんセンター 病理診断科³⁾, 埼玉県立がんセンター 検査技術部⁴⁾,
埼玉県立がんセンター 薬剤部⁵⁾, 埼玉県立がんセンター 放射線科治療科⁶⁾

P9-2 当院における再発・難治性大細胞型B細胞リンパ腫に対するエプコリタマブ療法の後方視的解析
鈴木 一史¹⁾, 瓜生 英樹¹⁾, 郡司 匡弘¹⁾, 福島 僚子¹⁾, 平野 慧^{1,2)},
中村 嵩^{1,2)}, 石井 敬大^{1,2)}, 横山 洋紀¹⁾, 勝部 敦史¹⁾, 石井 敬人¹⁾,
仲野 彩¹⁾, 細羽 梨花¹⁾, 服部 大樹¹⁾, 望月 泰孝¹⁾, 香取 美津治^{1,2)},
長尾 陸^{1,2)}, 西脇 嘉一^{1,2)}, 矢野 真吾¹⁾
東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科¹⁾, 東京慈恵会医科大学附属柏病院 腫瘍・血液内科²⁾

P9-3 回腸皮膚瘻・回腸膀胱瘻・S状結腸膀胱瘻を有した小腸原発DLBCLに対し、epcoritamabが奏功した1例
土蔵 太一郎^{1,2)}, 山内 千乃¹⁾, 酒井 知史¹⁾, 今井 陽平¹⁾, 嗟峨 玲奈¹⁾,
日台 裕子¹⁾, 秋山 秀樹¹⁾, 村井 善郎¹⁾, 本村 小百合¹⁾
東京都立多摩北部医療センター 血液内科¹⁾, 日本医科大学 血液内科²⁾

P9-4 組織学的形質転換をきたし、二重特異性抗体治療中に食道気管支瘻を合併した再発難治性濾胞性リンパ腫の一例

萩原 真也¹⁾, 楠本 茂¹⁾, 稲田 亘佑²⁾, 河合 秋美¹⁾, 川口 裕佳¹⁾,
齋藤 統子¹⁾, 佐藤 啓³⁾, 細田 和貴⁴⁾, 安部 哲也²⁾, 山本 一仁¹⁾
愛知県がんセンター 血液・細胞療法部¹⁾, 愛知県がんセンター 消化器外科部²⁾,
名古屋大学医学部附属病院 病理部³⁾, 愛知県がんセンター 遺伝子病理診断部⁴⁾

P9-5 Epcoritamabを使用後、CMV脳炎と難治性COVID-19感染症を合併した難治性び慢性大細胞型B細胞リンパ腫の一例

立岡 慶祐, 國富 あかね, 玉木 佐季, 孫 胡擘, 鹿野 恵, 森 美奈子,
竹岡 友晴, 塘 賢二郎, 水本 智咲, 辻 將公
大津赤十字病院 血液免疫内科

P9-6 同種造血幹細胞移植後再発にエプコリタマブが奏効したDLBCLの1例

荒井 俊也¹⁾, 佐藤 範英¹⁾, 大久保 萌¹⁾, 桑原 彩子¹⁾, 吉敷 智和²⁾,
鬼塚 裕美³⁾, 日比谷 孝志³⁾, 須並 英二²⁾, 柴原 純二³⁾, 高山 信之^{1,4)}
杏林大学医学部 血液内科¹⁾, 杏林大学医学部消化器外科²⁾, 杏林大学医学部病理診断科³⁾,
杏林大学医学部付属杉並病院⁴⁾

ポスター10 B細胞リンパ腫9

座長：頼 晋也（近畿大学医学部 血液・膠原病内科）

P10-1 SyngeneicマウスにおいてPolatuzumab vedotinは腫瘍へのT細胞の浸潤を亢進させ、CD20-CD3二重特異性抗体と併用効果を示す

富田 真由, 周 正, 川崎 夏実, 高木 理子, 吉浦 茂樹, 山下 依子
中外製薬株式会社 プロダクトリサーチ部

P10-2 原発巣切除後の残存小腸に晩期再発したDiffuse Large B-cell Lymphoma

斉藤 誠¹⁾, 種井 善一²⁾, 横山 絵美¹⁾, 金谷 穰¹⁾, 泉山 康¹⁾, 盛 暁生¹⁾,
森岡 正信¹⁾, 近藤 健¹⁾
愛育病院 血液内科・血液病センター¹⁾, 北海道大学病院 病理部/病理診断科²⁾

P10-3 Interim analysis of a prospective study on treatment and loss of independency/progression of nursing care levels in older lymphoma patients (LyLIE study)

瓜生 英樹¹⁾, 福島 伯泰²⁾, 橋本 典諭³⁾, 高畑 武功⁴⁾, 福島 僚子⁵⁾,
小代 彩⁶⁾, 阿部 真紀子⁷⁾, 有馬 久富⁷⁾, 矢野 真吾¹⁾, 田 和夫⁸⁾,
照井 康仁⁹⁾

東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍・血液内科¹⁾,
日本赤十字社 唐津赤十字病院 血液内科²⁾,
東海大学医学部付属八王子病院 血液腫瘍内科³⁾,
弘前大学大学院医学研究科むつ下北地域医療学講座⁴⁾,
東京慈恵会医科大学附属第三病院 腫瘍・血液内科⁵⁾, 鹿児島大学病院 血液・膠原病内科⁶⁾,
福岡大学医学部 衛生・公衆衛生学⁷⁾, 特定非営利活動法人 臨床血液・腫瘍研究会⁸⁾,
埼玉医科大学病院 血液内科⁹⁾

P10-4 当施設の限局期びまん性大細胞型B細胞リンパ腫患者に対するPola-R-CHP療法の有効性と安全性の検討

中村 嵩¹⁾, 鈴木 一史²⁾, 郡司 匡弘²⁾, 福島 僚子³⁾, 石井 敬人²⁾,
瓜生 英樹²⁾, 平野 慧¹⁾, 長尾 陸¹⁾, 石井 敬大¹⁾, 横山 洋紀²⁾,
勝部 敦史²⁾, 服部 大樹²⁾, 大場 理恵²⁾, 田上 晋³⁾, 山内 浩文³⁾,
塚本 公瑠美³⁾, 香取 美津治³⁾, 齋藤 健³⁾, 西脇 嘉一¹⁾, 矢野 真吾²⁾

東京慈恵会医科大学附属柏病院¹⁾, 東京慈恵会医科大学附属病院²⁾,
東京慈恵会医科大学附属第三病院³⁾

P10-5 Pola-R-CHP療法後再発・難治性DLBCLの臨床的特徴と治療成績

早瀬 直輝, 中村 信彦, 岡本 大典, 生駒 良和, 中村 博, 兼村 信宏,
清水 雅仁

岐阜大学医学部附属病院

P10-6 アジアのパラドックスの解決と中枢神経系指向性の相乗的メカニズム：DLBCLにおけるCD5とnon-GCB表現型の相乗的役割

田中 佑加¹⁾, 永沼 謙²⁾, 坂田 憲幸²⁾, 高橋 康之²⁾, 齊藤 則充¹⁾,
百瀬 修二³⁾, 東 守洋³⁾, 多林 孝之²⁾

大手前病院 血液内科¹⁾, 埼玉医科大学総合医療センター 血液内科²⁾,
埼玉医科大学総合医療センター 病理部³⁾

P10-7 Correlation with CD79B expression and effectiveness of polatuzumab vedotin and change of CD79B expression after polatuzumab vedotin-containing therapy in DLBCL

皆見 勇人¹⁾, 高橋 友香^{1,2)}, 竹内 真衣¹⁾, 伊藤 勇太³⁾, 蒔田 真一³⁾,
岩城 憲子³⁾, 福原 傑³⁾, 棟方 理³⁾, 伊豆津 宏二³⁾, 前島 亜希子¹⁾

国立がん研究センター中央病院 病理診断科¹⁾, JR東京総合病院 臨床検査科²⁾,
国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科³⁾

ポスター11 B細胞リンパ腫10

座長：橋本 優子（福島県立医科大学医学部病理病態診断学講座）

- P11-1** 局所放射線照射のみで治癒した涙嚢びまん性大細胞B細胞リンパ腫：21年の経過観察
 松尾 俊彦¹，田中 健大²，武本 充広³
 岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域／眼科¹，
 岡山大学学術研究院医歯薬学域病理学²，姫路赤十字病院放射線治療科³
- P11-2** CD5/CD13陽性DLBCLの1例
 山田 茜，大谷 幸一，石澤 悠樹，高橋 諒，佐藤 諒，細川 雅司，
 相澤 桂子，鈴木 琢磨，伊藤 巧，横山 寿行
 山形大学医学部附属病院第三内科
- P11-3** 偶発的に見つかったBurkitt lymphomaの1例
 山下 大祐^{1,2}，山川 惇之介¹，山田 智彦³，森久 芳樹⁴，佐藤 啓⁵，
 原 重雄¹
 神戸市立医療センター中央市民病院 病理診断科¹，
 名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学²，
 神戸市立医療センター中央市民病院 血液内科³，
 神戸市立医療センター中央市民病院 消化器内科⁴，名古屋大学医学部附属病院 病理部⁵
- P11-4** Three cases of B-lymphoproliferative disorders using IGHV1-2*04 allele in IGHV-D-J gene rearrangements
 大谷 旭¹，前川 ふみよ¹，林田 雅彦¹，竹岡 加陽¹，住吉 真治²，
 赤坂 尚司³，大野 仁嗣¹
 天理よろづ相談所 医学研究所¹，天理よろづ相談所病院 病理診断科²，
 天理よろづ相談所病院 血液内科³
- P11-5** t(14;19)(q32;q13) breakpoints telomeric to BCL3 on 19q13.32 in diffuse large B-cell lymphoma and long-range structures of der(19)t(14;19) based on optical genome mapping
 大野 仁嗣¹，前川 ふみよ¹，林田 雅彦¹，中川 美穂¹，岸森 千幸¹，
 福塚 勝弘¹，竹岡 加陽¹，坂本 真一²，住吉 真治²，赤坂 尚司³，
 浅越 康助⁴
 天理よろづ相談所 医学研究所¹，天理よろづ相談所病院 病理診断科²，
 天理よろづ相談所病院 血液内科³，滋賀県立総合病院 血液内科⁴

- P11-6** Diffuse Large B-Cell Lymphoma with 11q Aberration: Three Cases
 山田 匠希¹⁾, 武田 萌¹⁾, 長瀬 怜¹⁾, 佐藤 崇²⁾, 鈴木 理^{1,2)}, 橋本 優子¹⁾
 福島県立医科大学医学部病理病態診断学講座¹⁾,
 福島県立医科大学会津医療センター附属病院病理診断科²⁾

- P11-7** 壊死性縦隔腫瘍病変を呈した高悪性度B細胞リンパ腫・特定不能型の1例
 河合 秋美¹⁾, 楠本 茂¹⁾, 佐藤 啓²⁾, 川口 裕佳¹⁾, 萩原 真也¹⁾,
 齋藤 統子¹⁾, 加留部 謙之輔²⁾, 細田 和貴³⁾, 山本 一仁¹⁾
 愛知県がんセンター 血液・細胞療法部¹⁾, 名古屋大学医学部附属病院 病理部²⁾,
 愛知県がんセンター 遺伝子病理診断部³⁾

ポスター12 B細胞リンパ腫11

座長：武藤 礼治（国立病院機構熊本医療センター病理診断科）

- P12-1** ゴリムマブ治療歴を背景に肝臓に局限して発症したEBV陰性polymorphic lymphoproliferative disorderの一例
 村上 五月¹⁾, 佐藤 啓²⁾, 杉田 悠希衣^{1,2)}, 伊佐地 優人¹⁾, 三枝 桜¹⁾,
 飯田 悠介¹⁾, 篠原 早紀¹⁾, 松村 沙織¹⁾, 内野 かおり¹⁾, 堀尾 知弘¹⁾,
 水野 昌平¹⁾, 池亀 和博¹⁾, 花村 一朗¹⁾, 高原 大志³⁾, 高見 昭良¹⁾
 愛知医科大学医学部 血液内科¹⁾, 名古屋大学医学部附属病院 病理部²⁾,
 愛知医科大学病院 病理部³⁾
- P12-2** 免疫チェックポイント阻害薬投与中に下肢血管周囲に発生したDLBCLの1例
 武藤 礼治^{1,5)}, 樋口 悠介²⁾, 牧野 公治³⁾, 村上 栄敏⁴⁾, 三好 寛明⁵⁾
 国立病院機構熊本医療センター病理診断科¹⁾, 国立病院機構熊本医療センター血液内科²⁾,
 国立病院機構熊本医療センター皮膚科³⁾, 国立病院機構熊本医療センター泌尿器科⁴⁾,
 久留米大学病理学講座⁵⁾
- P12-3** DLBCLへの形質転換にEBV感染の関与が示唆されたFLの一例
 本村 璃緒¹⁾, 佐藤 理亮¹⁾, 栗原 祐也¹⁾, 志村 有香¹⁾, 正本 庸介²⁾,
 湯浅 光博¹⁾, 黒川 峰夫^{1,3)}
 東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科¹⁾, 東京大学医学部附属病院 輸血部²⁾,
 東京大学医学部附属病院 無菌治療部³⁾

P12-4 リンパ節腫大を初発症状とし、非典型的な臨床像を呈したリンパ腫様肉芽腫症の1例

遠田 幸大^{1,2)}, 室山 佑希³⁾, 小野寺 晃一⁴⁾, 川尻 昭寿⁴⁾, 鈴木 貴^{1,5)},
一迫 玲⁶⁾

東北大学病院 病理部¹⁾, 東北大学病院 個別化医療センター²⁾,
東北大学 SiRIUS 医学イノベーション研究所³⁾, 東北大学病院 血液内科⁴⁾,
東北大学病院 医学部医学系研究科 病理診断学分野⁵⁾,
東北大学病院 造血器病理学共同研究部門⁶⁾

P12-5 経過中に自然寛解を呈したintravascular large B-cell lymphomaの2例

高橋 照子¹⁾, 郭 永梅¹⁾, 守屋 慶一¹⁾, 田所 治朗¹⁾, 清水 朋実²⁾,
百瀬 修二²⁾, 田丸 淳一²⁾, 柏村 眞¹⁾

新松戸中央総合病院 血液内科¹⁾, 埼玉医科大学総合医療センター 病理部²⁾

P12-6 胃MALTリンパ腫診断時には大腸精査を考慮すべきか：同一クローン性が確認された胃・大腸MALTリンパ腫の1例

立津 央¹⁾, 古田 梨愛¹⁾, 加留部 謙之輔²⁾, 川上 裕史³⁾, 宮里 祐子⁴⁾,
山田 麻美¹⁾, 七條 敬文¹⁾, 野坂 生郷¹⁾, 三上 芳喜⁴⁾, 田中 靖人³⁾,
安永 純一朗¹⁾

熊本大学病院 血液内科¹⁾, 名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学²⁾,
熊本大学病院 病理部³⁾, 熊本大学病院 消化器内科⁴⁾

ポスター13 T/NK細胞リンパ腫2

座長：山田 俊樹（岐阜県総合医療センター 血液内科）

P13-1 血管免疫芽球性T細胞リンパ腫の化学療法に発症した血球貪食性リンパ組織球症の検討

岡谷 健史¹⁾, 牟田 毅^{1,2,3)}, 平川 聖也¹⁾, 布村 拓也¹⁾, 大地 哲朗¹⁾,
今中 亮太¹⁾, 許 鴻平¹⁾, 板垣 充弘¹⁾, 黒田 芳明^{1,2)}, 勝谷 慎也^{1,3)},
藤原 恵⁴⁾, 片山 雄太¹⁾

広島赤十字・原爆病院 血液内科¹⁾, 広島赤十字・原爆病院 輸血部²⁾,
広島赤十字・原爆病院 検査部³⁾, 広島赤十字・原爆病院 病理診断科⁴⁾

P13-2 優秀演題口演 Spatial Multi-Omics at Single-Cell Resolution Reveals Vascular Heterogeneity and an Immune-Exhausted Microenvironment in Angioimmunoblastic T-Cell Lymphoma

清水 夕貴¹, 藤澤 学^{1,2}, 榎島 健一¹, 須摩 桜子¹, 末原 泰人¹,
服部 圭一郎¹, 坂本 竜弘^{1,2}, 鈴木 絢子³, 梶 大介⁴, 中村 信彦⁵,
中川 雅夫⁶, 加藤 光次⁷, 岩崎 健⁷, 手島 伸一⁸, 松永 孝生⁹,
中村 直哉¹⁰, 大田 泰徳⁴, 鈴木 穰³, Steidl Christian²,
坂田 (柳元) 麻実子¹

筑波大学 医学医療系 血液内科¹, BC Cancer Centre for Lymphoid Cancer department²,
東京大学大学院 メディカル情報生命専攻³, 虎の門病院 血液内科/病理診断科⁴,
岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科⁵, 北海道大学病院 血液内科⁶,
九州大学病院 血液腫瘍心血管内科/病理診断科⁷, 湘南鎌倉病院 病理診断科⁸,
亀田総合病院 血液・腫瘍内科⁹, 東海大学 医学部 病理診断学¹⁰

P13-3 移植非適応再発・難治性末梢性T細胞リンパ腫に対するエピジェネティック薬の使用経験

山田 俊樹¹, 島津 諒磨¹, 鶴見 寿²

岐阜県総合医療センター 血液内科¹, 松波総合病院 血液・腫瘍内科²

P13-4 直腸癌との同時性重複がんとして発症し、再発時P-GemOx療法が奏効した節外性NK/T細胞リンパ腫

名藤佑真^{1,2}, 宮崎香奈², 今井裕³, 渡邊泰行⁴, 多田章太⁵, 塩谷拓也², 俵功²,
山口素子¹

三重大学大学院医学系研究科 先進血液腫瘍学¹,
三重大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学², 三重大学医学部附属病院 病理部³,
鈴鹿回生病院 血液内科⁴, 鈴鹿回生病院 外科⁵

P13-5 免疫不全/調節異常を基盤として発症した成人T細胞性白血病・リンパ腫とDe novo症例との比較検討

山田 キョウヘイ¹, 三好 寛明¹, 中嶋 一貴¹, 森坪 麻友子¹,
光山 佳菜子¹, 木村 美緒¹, 古田 拓也¹, 大島 孝一²

久留米大学医学部病理学講座¹, 久留米大学先端癌治療研究センター分子標的部門²

P13-6 HTLV-1 cell-free DNAはHTLV-1キャリアおよび成人T細胞白血病・リンパ腫の予後バイオマーカーとなり得るか

佐野 晴彦¹, 勝屋 弘雄², 牧山 純也³, 前田 綾², 長家 聡明⁴,
福島 伯泰⁴, 王丸 春菜², 三橋 達也², 藤田 真衣², 佐野 遥菜²,
板村 英和², 岡本 翔², 安藤 寿彦², 末岡 榮三朗 25 木村 晋也²

佐賀県医療センター好生館 臨床腫瘍科¹, 佐賀大学医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科²,
地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター 血液内科³,
日本赤十字社 唐津赤十字病院 血液内科⁴, ゆうあい社会福祉事業団未来型医療研究所⁵

ポスター14 T/NK細胞リンパ腫3

座長：新田 英昭（順天堂大学医学部附属浦安病院 血液内科）

- P14-1** 肺腺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬治療中に骨病変の進行がみられ、生検にて診断された末梢性T細胞性リンパ腫，非特異型
 籠尾 壽哉¹⁾，平井 智大¹⁾，川瀬 咲¹⁾，上野 博則¹⁾，長谷川 華子²⁾，清水 隆之¹⁾
 独立行政法人国立病院機構東京医療センター 血液内科¹⁾，
 独立行政法人国立病院機構東京医療センター 呼吸器内科²⁾
- P14-2** 著明な白血化を伴い発症した末梢性T細胞リンパ腫
 小林 裕児¹⁾，今泉 芳孝¹⁾，北之園 英明²⁾，桐野 祐子¹⁾，渡辺 春香¹⁾，三浦 史郎³⁾，三好 寛明⁴⁾，吉田 真一郎¹⁾
 国立病院機構長崎医療センター血液内科¹⁾，諫早総合病院血液内科²⁾，
 国立病院機構長崎医療センター病理診断科³⁾，久留米大学医学部病理学講座⁴⁾
- P14-3** 甲状腺原発Peripheral T-cell lymphoma NOSの1例
 岡 佑香¹⁾，小林 靖幸²⁾，喜古 雄一郎³⁾，橋本 優子¹⁾
 福島県立医科大学医学部 病理病態診断学講座¹⁾，
 福島県立医科大学医学部 基礎病理学講座²⁾，竹田総合病院 病理診断科³⁾
- P14-4** 骨髄線維症との鑑別を要した肝脾T細胞リンパ腫の一例
 新田 英昭¹⁾，古屋 智帆^{1,3)}，飯塚 弘子¹⁾，瀧澤 春子¹⁾，野口 雅章¹⁾，三森 徹¹⁾，澤田 朝寛²⁾，安藤 純³⁾，安藤 美樹³⁾
 順天堂大学医学部附属浦安病院 血液内科¹⁾，順天堂大学医学部附属浦安病院 検査部²⁾，
 順天堂大学医学部附属順天堂医院 血液内科³⁾
- P14-5** ALK陽性未分化大細胞リンパ腫におけるデジタルPCRを用いた3' ALK MDD解析法の開発と予後解析
 深野 玲司¹⁾，飯島 友加²⁾，岩淵 英人³⁾，中澤 温子⁴⁾，齋藤 明子²⁾，瀧本 哲也⁵⁾，関水 匡大^{2,6)}，末廣 寛⁷⁾，山崎 隆弘⁷⁾，森 鉄也⁸⁾，堀部 敬三^{2,6)}
 産業医科大学 小児科学講座¹⁾，国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター²⁾，
 静岡こども病院 病理診断科³⁾，埼玉県立小児医療センター 臨床研究部⁴⁾，
 国立成育医療研究センター 小児がんセンター⁵⁾，
 国立病院機構名古屋医療センター 小児科⁶⁾，
 山口大学大学院医学系研究科臨床検査・腫瘍学講座⁷⁾，聖マリアンナ医科大学 小児科⁸⁾

- P14-6** Marginal zone lymphomaとHodgkin lymphomaに続いて顕在化し、診断に苦慮したHRS様細胞を伴うNodal TFH cell lymphoma, angioimmunoblastic type
 吉澤 遼¹⁾, 齊藤 明生¹⁾, 宮澤 悠里²⁾, 入内島 裕乃^{1,3)}, 磯田 淳^{1,4)},
 金谷 秀平¹⁾, 三原 正大¹⁾, 山田 桃子⁵⁾, 神谷 誠^{5,6)}, 前島 亜希子⁷⁾,
 松本 守生¹⁾
 国立病院機構 渋川医療センター 血液内科¹⁾, 群馬大学医学部附属病院 血液内科²⁾,
 国立病院機構 渋川医療センター 臨床研究部³⁾, 医療法人星医院 血液内科⁴⁾,
 国立病院機構 渋川医療センター 病理診断科⁵⁾,
 学校法人昌賢学園 群馬医療福祉大学 看護学部⁶⁾,
 東京大学医科学研究所附属病院 病理診断科⁷⁾

ポスター15 Hodgkinリンパ腫, リンパ腫, その他

座長：佐藤 啓（名古屋大学医学部附属病院 病理部）

- P15-1** 混合細胞型古典的ホジキンリンパ腫寛解6年後に結節性リンパ球優位型ホジキンリンパ腫を発症した1例
 久保 龍大¹⁾, 山本 譲司¹⁾, 突田 真紀子¹⁾, 阿部 正理¹⁾, 遠田 幸大²⁾,
 一迫 玲²⁾, 福原 規子³⁾, 奥田 光崇¹⁾
 仙台市立病院 血液内科¹⁾, 東北大学病院 造血器病理学²⁾, 東北大学病院 血液内科³⁾
- P15-2** サルコイドーシス治療後に生じた結節性リンパ球優位型ホジキンリンパ腫を組織型とする免疫不全/免疫調節異常に起因するリンパ腫
 吉川 侑里, 伊藤 謙一, 本橋 沙耶, 平野 和彦, 関口 直宏
 独立行政法人国立病院機構 災害医療センター
- P15-3** 自家移植後にCD20陰性化を認めた再発難治結節性リンパ球優位型ホジキンリンパ腫に対し臍帯血移植と放射線治療が奏効した1例
 井本 直人, 前多 松喜, 新井 義文, 若山 知義, 鶴飼 俊, 伊藤 理恵,
 倉橋 信悟
 豊橋市民病院
- P15-4** 優秀演題口演 進行期古典的ホジキンリンパ腫におけるRHOA G17V変異検出の意義と治療戦略への示唆
 山田 梨央, 西村 碧フィリーズ, 錦織 亜沙美, 佐藤 康晴
 岡山大学大学院保健学研究科 分子血液病理学
- P15-5** 造血幹細胞移植後に出現したリンパ増殖性疾患27例の検討
 高橋 友香¹⁾, 皆見 勇人²⁾, 前島 亜希子²⁾
 JR東京総合病院 臨床検査科¹⁾, 国立がん研究センター中央病院 病理診断科²⁾

ポスター16 B細胞リンパ腫, リンパ腫, その他

座長：中里 宜正（国際医療福祉大学 那須医療センター 病理診断科）

- P16-2** 優秀演題口演 scRNA-flex解析からみたIPL型特発性多中心性Castleman病(IPL)の組織学的特徴とその分子基盤
原武 朋加, 西村 碧 フィリーズ, 錦織 亜沙美, 佐藤 康晴
岡山大学大学院保健学研究科
- P16-3** IPL型特発性多中心性キャッスルマン病における小胞体ストレスを介した*XBPI*発現亢進とIL-6産生メカニズム
錦織 亜沙美¹⁾, 原武 朋加¹⁾, 山田 梨央¹⁾, 山木 紅葉²⁾, 飯塚 くるみ²⁾, 西村 碧フィリーズ¹⁾, 佐藤 康晴¹⁾
岡山大学学術研究院 保健学域¹⁾, 岡山大学医学部保健学科検査技術科学専攻²⁾
- P16-4** 菊池-藤本病 (KFD) の病巣は, PANoptosis (Pyroptosis · Apoptosis · Necroptosis) の総合作動により形成される
浅野 重之¹⁾, 鹿野 光治¹⁾, 山崎 一樹¹⁾, 十亀 陽一郎²⁾, 箱崎 惇太郎²⁾, 齋藤 優太²⁾, 橋本 優子³⁾, 川名 聡³⁾, 柏村 眞⁴⁾, 清水 弘明¹⁾, 中村 保宏⁵⁾, 山田 倫⁶⁾, 菰原 義弘⁶⁾
いわき市医療センター 病理診断センター¹⁾, 福島工業高等専門学校 化学・バイオ工学²⁾, 福島県立医科大学医学部 病理病態診断学講座³⁾, 新松戸中央総合病院 血液内科⁴⁾, 東北医科薬科大学医学部 病理学講座⁵⁾, 熊本大学医学部 生命科学部細胞病理学講座⁶⁾
- P16-5** 関節リウマチ (RA) 患者における制御性T細胞 (Treg) の解析 第3報
太田 美穂¹⁾, 横山 あき¹⁾, 内山 孝由¹⁾, 錦織 亜沙美³⁾, 祇園 由佳⁴⁾, 佐藤 康晴³⁾, 小山 芳伸⁵⁾, 青木 定夫^{1,2)}
新潟薬科大学医療技術学部血液学研究室¹⁾, 新潟南病院血液内科²⁾, 岡山大学学術研究院保健学域分子血液病理学講座³⁾, 愛媛県立医療技術大学保健科学部臨床検査学科⁴⁾, 岡山赤十字病院膠原病・リウマチ内科⁵⁾
- P16-6** IgG4関連疾患とびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の同時発症例の経過
川上 綾乃¹⁾, 柳澤 浩人²⁾, 三島 啓太²⁾, 山之内 弥矢²⁾, 上田 祐輔²⁾, 坂井 知之²⁾, 山田 和徳³⁾, 川野 充弘²⁾, 水田 秀一⁴⁾, 正木 康史²⁾
金沢医科大学病院 臨床研修センター¹⁾, 金沢医科大学病院 血液免疫内科²⁾, 金沢医科大学病院 医学教育学³⁾, 金沢医科大学病院 総合診療科⁴⁾

ポスター17 リンパ腫, その他

座長：松田 育雄（兵庫医科大学 病理学・病理診断部門（病院病理部））

P17-1 当院における造血器腫瘍遺伝子パネル検査の現状と課題～病理側の観点から～
谷垣 祐妃¹⁾, 長瀬 駿介¹⁾, 川井 英嗣²⁾, 扇屋 大輔²⁾, 川田 浩志²⁾,
中村 直哉¹⁾, 眞杉 洋平¹⁾
東海大学医学部基盤診療学系病理診断学¹⁾, 東海大学医学部内科学系血液・腫瘍内科学²⁾

P17-2 Insights from HemeSight: 私たちの経験から
松田 育雄¹⁾, 吉原 享子²⁾, 山崎 隆¹⁾, 三林 聡子¹⁾, 河野 洋¹⁾, 吉原 哲²⁾,
大江 知里¹⁾
兵庫医科大学 病理学・病理診断部門（病院病理部）¹⁾,
兵庫医科大学 呼吸器・血液内科学²⁾

P17-3 液状検体が診断に寄与したリンパ腫症例の実態
坂本 美彩¹⁾, 川波 由歩¹⁾, 宮田 直樹¹⁾, 佐藤 康晴²⁾, 市村 浩一³⁾
地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立広島市民病院 臨床検査部¹⁾,
岡山大学学術研究院保健学域 分子血液病理学²⁾,
地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立広島市民病院 病理診断科³⁾

P17-4 初診時に非定型慢性骨髄性白血病が疑われた慢性骨髄単球性白血病の2例
織田 麻琴, 菊池 イアーラ幸江, 谷垣 祐妃, 長瀬 駿介, 伊藤 淳史,
生駒 悠, カレーラス ジュアキム, 中村 直哉, 眞杉 洋平
東海大学医学部 基盤診療学系病理診断学

P17-5 豊富なT細胞浸潤を伴いT細胞リンパ腫との鑑別に難渋した骨髄異形成症候群のリンパ節病変の一例
五味川 龍¹⁾, 伊藤 藍¹⁾, 名島 悠峰²⁾, 土岐 典子²⁾, 下山 達³⁾,
貞任 大地⁴⁾, 原田 結花⁴⁾, 新井 基展⁵⁾, 比島 恒和¹⁾
がん・感染症センター都立駒込病院 病理科¹⁾,
がん・感染症センター都立駒込病院 血液内科²⁾,
がん・感染症センター都立駒込病院 腫瘍内科³⁾,
がん・感染症センター都立駒込病院 臨床研究・治験センター⁴⁾,
日本赤十字社深谷赤十字病院 病理部⁵⁾

P17-6 S状結腸炎症性ポリープとして発見されたEBV陽性炎症性濾胞樹状細胞肉腫の一例
上原 慶一郎¹⁾, 大井 充²⁾, 伊藤 智雄¹⁾
神戸大学医学部附属病院 病理診断科¹⁾,
神戸大学医学部附属病院 国際がん医療・研究センター 消化器内科²⁾